

第2回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）

福祉倫が斬る！？「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

テーマ：『家屋内外にため込んだゴミや物がもつ意味とは』
～生活環境を整えるには・・・～

講師：沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 教授／社会福祉士 玉木 千賀子 氏
ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏
琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展 氏

○日 時：令和7年12月9日（火） 午後7時00分～9時10分

○場 所：沖縄県医師会・3階ホール

○参加者：35名（医師1名、看護師2名、MSW1名、薬剤師4名、
社会福祉士6名、ケアマネジャー・ケアプランナー13名、
介護職2名、精神保健福祉士3名、その他3名）



司会：安里 千文 氏

【目的】困難事例を多角的に学び、複雑な問題に直面したときの対処能力を向上させる。

また、困難事例との出会いで新たな経験を得ることで、学びを深め自己成長を目指す。

【方法】事例＋問い、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

サマリー 本研修では、多職種が一堂に会し意見交換を行い、「それぞれの立場からの意見が聞けて大変勉強になった」「事例の中から説明の仕方や言葉の使い方に気が付かれた」など、実践的な学びが多く寄せられた。福祉・法律・倫理の専門家からの助言についても、「自分の常識は相手の常識とは限らないと気付かされた」「相手が変わらない理由を理解し、支援者が変わる大切さを学んだ」「『ゴミをゴミと思わない』という言葉が刺さった」との声が寄せられ、支援姿勢を見つめ直す機会となった。研修全体としては「ゴミ問題の事例から対人援助の本質的な発見があった」と評価され、今後は医師との連携や居住支援など、参加者から挙げた困難事例を取り上げながら、継続的な研修の充実を図っていききたい。

【講師】
沖縄大学 福祉文化学科 教授
社会福祉士
玉木 千賀子 氏



【講師】
ゆいま～る法律事務所
弁護士
寺田 明弘 氏



【講師】
琉球大学病院 地域・国際医療部
臨床倫理士
金城 隆展 氏



全体風景



グループワーク



グループワーク発表



福法倫が斬る!?「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

日 時：令和7年12月9日（火） 19時00分～21時10分

場 所：沖縄県医師会・3階ホール

テーマ：『家屋内外にため込んだゴミや物がもつ意味とは ～生活環境を整えるには・・・～』

講 師：玉木 千賀子 氏（社会福祉士）、寺田 明弘 氏（弁護士）、金城 隆展 氏（臨床倫理士）

参加者：35名（医師1名、看護師2名、MSW1名、社会福祉士6名、薬剤師4名、介護職2名

ケアマネジャー・ケアプランナー13名、精神保健福祉士3名、その他3名）

アンケート回答者：34名（回収率97%）

1. 経験年数について

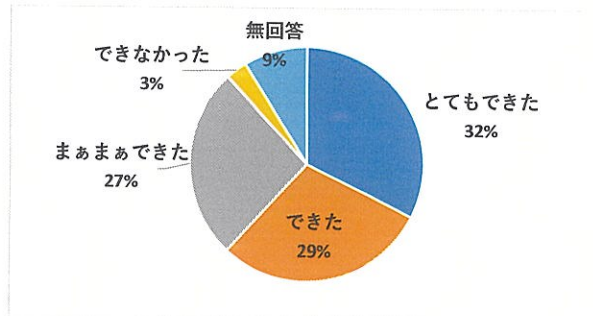
経験年数	人数	割合
1年未満	3	9%
1～5年未満	6	18%
6～10年未満	7	21%
11～20年未満	13	38%
21～30年未満	4	12%
31年以上	1	3%
総計	34	100%

2. 職種の内訳

職種	人数	割合
医師	1	3%
歯科医師	0	0%
看護師	1	3%
保健師	0	0%
薬剤師	4	12%
栄養士	0	0%
MSW	1	3%
ケアマネジャー・ケアプランナー	14	41%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	5	15%
介護職（ヘルパー等）	2	6%
歯科衛生士	0	0%
その他（精神保健福祉士、終身サポート事業、入居相談員）	5	15%
無回答	1	3%
総計	34	100%

3. グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	11	32%
できた	10	29%
まあまあできた	9	27%
できなかった	1	3%
無回答	3	9%
総計	34	100%



福法倫が斬る!?「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

*** グループワークに関するご意見・ご感想等がありましたら、お聞かせください。**

- ・ 様々な意見が聞けて良かった。とても良いグループワークが出来た。
- ・ 多職種の意見・考え方、勉強になった。
- ・ グループの意見がとても参考になった。
- ・ 各専門職の立場での意見交換が出来た。
- ・ 多職種が集まり、話ができて良かった。
- ・ 多職種だったので、その立場の意見も聞けて良かった。
- ・ 色んな職種の方がいて、それぞれの視点と意見が聞けて勉強になった。
- ・ 私が考えない視点が聞けて、とても良かった。
- ・ 一人ひとりが、しっかりと自分の意見を述べていた。とても気づきが多かった。
- ・ 色んな意見を聞くことで気づきがあり、多面的な視点を持つこともできた。
- ・ 多職種のそれぞれの立場からの意見が聞けて、大変勉強になった。社会との関り、社会での役割が必要だと思った。
- ・ 事例の中からヒントや気づきが出てきて、説明の仕方、言葉の使い方など、良いと思った。本人を尊重しながら支援者たちもゴミをゴミと捉えなかった行動も良かった。
- ・ ゴミ屋敷の方を対応したケースや、その後の関わりの話が聞けて参考になった。事例を通してゴミ屋敷だけでなく病院や保護課との連携など、話題を広めて意見交換が出来た。
- ・ 急性期病院で働いていて、本人を受け止める姿勢を思い出した。グループワークは楽しかった。
- ・ グループの皆さんもそれぞれこのような事例を経験されていることが多く、色んな意見が聞けて良かった。
- ・ 自分が将来こうなるかもしれないということを考えながら発言することができた。
- ・ 進行が優しく進めてくれたので話しやすかった。時間も、一周話した後の質問もできて、すごく良かったです。
- ・ 色んな視点からの話を聞けて良かった。急に始まったので、ファシリテーターがいたらもっと良かったと思う。
- ・ 進行役をしたが、周辺知識が不足しており、ついていけなかった。

4. 3名の講師へのご意見・ご感想等がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・ 毎回勉強になります。
- ・ 福祉・法律・倫理学の考え方、知識を学ぶことができた。
- ・ 福祉・法律・倫理の視点で、分かりやすい支援の根拠を学べた。
- ・ 福祉・法律・倫理学の視点から話を聞けて勉強になった。タイミングの計り方も大切だと知った。
- ・ それぞれの立場・専門からの意見がとても勉強になった。
- ・ それぞれの立場の意見を聞くことができた。これからのケースに役立てたい。

福法倫が斬る!?「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

- ・それぞれの専門的な意見はとても参考になった。特に共通することは、本人の意思を尊重することだと感じた。
- ・それぞれの立場からの見識がすごく分かりやすく、頭にストンと落ちた。ありがとうございました。
- ・先生方から福祉・法律・倫理の視点から考え方を学ぶことができた。
- ・視点を变えることによって、相手の気持ちを理解できる。自分の常識は相手の常識とは限らないと気づかせてくれた。
- ・それぞれの視点から専門的なご意見を聞けて良かった。ためになりました。
- ・皆さんの適切な助言がとても勉強になった。
- ・今後の利用者に対しての声かけ等に役立てたいと思う。
- ・「ゴミをゴミと思わない」は一番刺さった。
- ・「アセスメント＝傾聴のためではない」と気づかされた。
- ・分かりやすい説明で、とても勉強になった。「聞く」ことで「自分が変わる」ということ、なるほどと思った。
- ・とても勉強になった。普段は臨床倫理士の話聞く機会がないので、本当にためになった。社会福祉士・弁護士・倫理士から見た様々な見方・考え方を聞けて良かった。
- ・先生方、本日は大変勉強になりました。利用者の立場になって関わっていく、傾聴する。ありがとうございました。
- ・私は今、物が溜まっている利用者の支援をしていて、早い段階から部屋を片付けた方がいいと伝えていたので、どうして溜めているのか、本人はどう選択しているのか、知っていくことがまずは大切だと思った。
- ・現場での自分を思い出し、考えさせられた。「相手が変わらないなら、なぜ変わらないのかを理解して、こちら（支援者）が変わる」相手を変えようと押し付けていた自分を思い出し内省した。今日の気づきを活かして支援していきたい。
- ・本人の意思と利益は必ずしも一致しているとは限らず、異なる際は中間をとらないといけない。どこに本人らしさがあるのかに気づくことが、大切だと学べた。本人との出会いが、後々の支援に大きく影響してくる。最初から“悩み”などネガティブなことを聞くことから始めるのではなく、ポジティブ面から入ることも大切だと学んだ。
- ・金城先生の話はすごく勉強になった。寺田先生の人生の役割、玉木先生の社会福祉士としての支援の在り方など、すごく勉強になった。
- ・専門的な視点、切り口から助言をいただき、業務の点検が出来た。次回開催を楽しみにしている。金城先生の「問題に名前を付け、本人と切り分ける」とのコメントが印象的だった。業務のみならず生活でも活かしたい。
- ・金城先生の内容は実践に関わるにあたり、利用者への尊厳を守るためにも大切なポイントが多くあった。寺田先生は法律の部分での教えも重要であった。玉木先生の福祉の話もすごく大事だった。現在、社会福祉士を目指して頑張っているの、勉強になった。

福法倫が斬る!?「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

5. 本研修会全体へのご意見・ご感想等がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・日々の仕事に役立てられる学びがあった。ありがとうございました。
- ・日々の実践に活かしたい。
- ・もっと広く多職種の方が参加できたらいいなと思う。
- ・グループワークも先生の話もとても分かりやすかった。ゴミをゴミと捉えないのも大事だと知った。
- ・ゴミ問題からの事例でしたが、対人援助の方法・発見がたくさんあった。結論をすぐ出したがる傾向を改めていきたいと思った。
- ・とても参考になった。実際に物（ゴミ）をため込む方と関わる機会があるので、実践していきたいと思う。今日の研修会で考えが変わった。ありがとうございました。
- ・普段は関わらない部分のため、とても面白かった。
- ・事例の内容について、一度自分自身で読み込む時間が持てると頭に入りやすいと思う。または、事前にメールで添付して欲しい。
- ・色んな意見や思い、考え方が聞けて、とてもいい研修会だった。
- ・多機関・多職種の方々とケースを通し意見交換の場を設けていただきありがとうございました。多職種連携を意識し業務にあたっていますが、改めてこのような研修会を通し多視点から一つのケースを考えることで、とても勉強になった。
- ・初めての参加で場違いだったらどうしようと緊張していましたが、皆さんの現場の話や考えを聞くことができ、とても為になった。ありがとうございました。また開催されたら参加したい。
- ・人それぞれ違っていいんだ。ゴミ屋敷にも意味があるんだと痛感した。支援にはより良い関係に繋げていく。
- ・事例を変えて、次の研修をしてほしい。楽しみにしています。
- ・とても良いと思う。土曜日開催はどうですか。
- ・本事例を使った前の研修に参加したため、案内時に同じ内容とのアナウンスがあると良い。（内容が分かるので、コメントを控えた）

6. 本研修で取り上げて欲しい困難事例がありましたら、お聞かせ下さい。

- ・主治医との連携の仕方について（訪問診療）上手く信頼関係を築くためにはどうすればいいのか。
- ・フォーマルな資源では、どうにもならない事例（地域資源の活用など）
- ・身寄りなし、居住支援